

「若手交流会」開催のお知らせ

政治経済学・経済史学会における若手研究者の学会活動を活性化するため、秋季学術大会にあわせて以下の要領で「若手研究会」を開催します。若手研究者の方々をはじめ、会員各位の幅広い参加を呼びかけます。

研究委員長 矢後和彦

日時 2015年10月16日（金） 17時～18時45分

場所 コラッセ福島 5階 研修室B （福島県福島市三河南町1-20）
JR福島駅（東北新幹線，東北本線，奥羽本線）西口より徒歩3分
<http://www.corasse.com/access>

タイトル 「座談会 論文執筆と査読をめぐって」

ゲスト 石原俊時（東京大学）
左近幸村（新潟大学）

司会・幹事 高嶋修一（青山学院大学）

<趣旨>

雑誌に査読付き論文を発表することは、研究成果を公開するための重要な手段です。特に大学院生などの若手研究者にとっては、それが職業研究者への登竜門であり、大学によっては課程博士論文を執筆するための条件としている場合もありますから、いかにして査読をパスするかは重要な関心事でしょう。また、近年は英語での論文執筆が重視される傾向も強まっており、英文誌の査読について事情を知りたいという研究者も多いことと思います。一方で、そうしたノウハウのことばかり考えていては、蔓延する業績主義に巻き込まれ、研究者としての主体性を失うことにもなりかねません。今回は、『歴史と経済』の石原俊時編集委員長と、査読の功罪を巡る議論に造詣が深い左近幸村氏をお迎えし、こうした問題について考えてみたいと思います。

なお、交流会終了後に懇親会を予定しております（19時開始予定）。そちらへの参加もお待ちしております。

問い合わせ 高嶋修一 stakashima@cc.aoyama.ac.jp